

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

宮城県加美郡保健医療福祉行政事務組合 公立加美病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	7,804	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

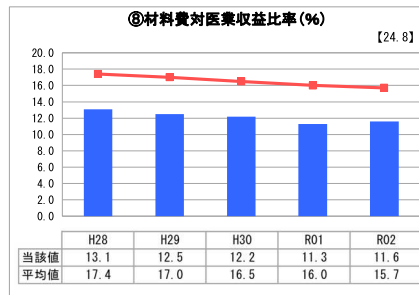
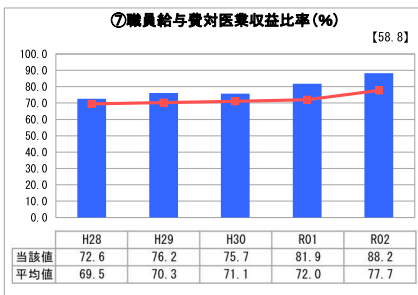
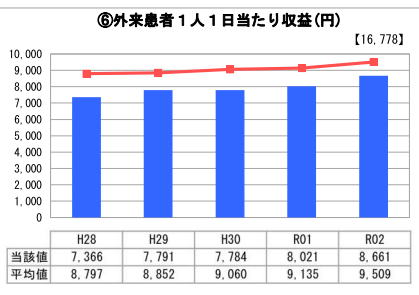
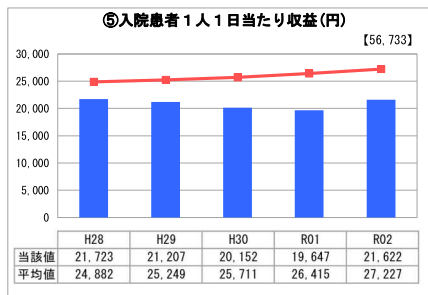
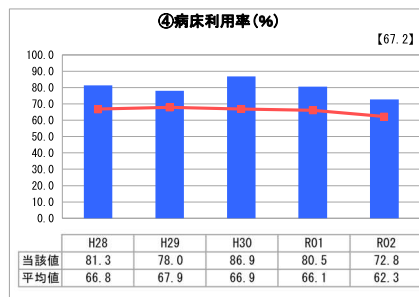
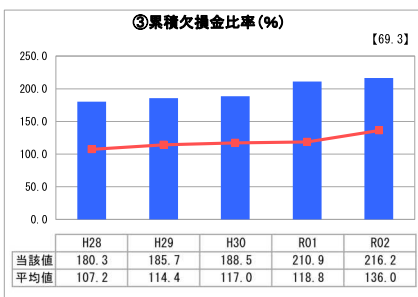
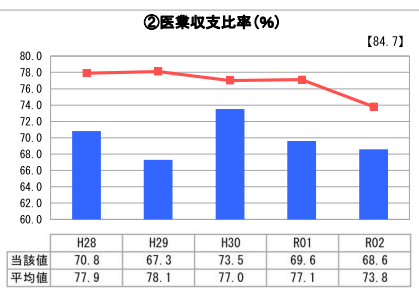
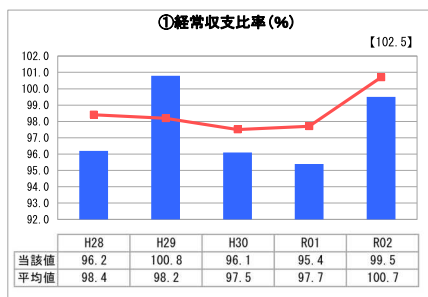
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
40	50	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	90
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
37	49	86

**グラフ凡例**

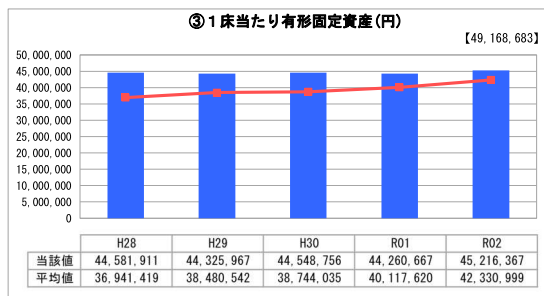
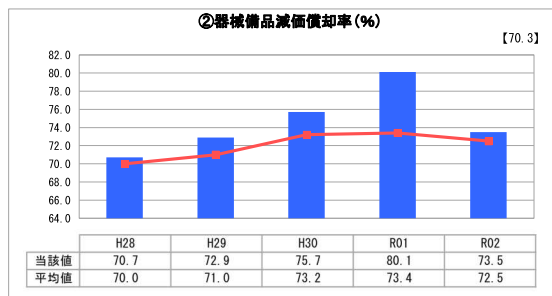
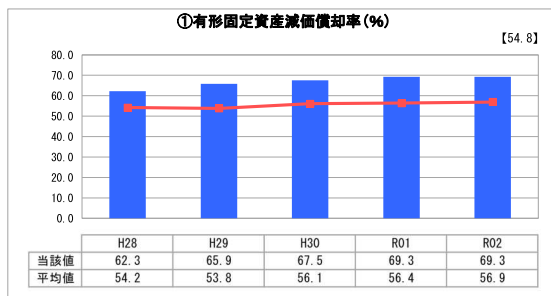
- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）

【】 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

## I 地域において担っている役割

地域密着型病院として、大崎市民病院や近隣の病院、診療所等と連携を深め、郡内唯一の入院機能を有する医療機関として、急性期、回復期、慢性期、終末期医療を提供するとともに、救急告示病院の役割も担っている。  
また、併設する介護老人保健施設と連携し、地域の包括的な支援・サービス提供体制（地域包括ケアシステム）の構築を推進している。

## II 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

医業収支の赤字を医業外収益の負担金及び交付金で補填している状況が続いており、医業収支の改善が必要とされる。  
診療報酬の算定強化と地域包括ケア病床への転換により入院・外来患者1人1日当たり収益が若干の上昇傾向にある。  
職員給与費対医業収益比率が高い割合を占めているため組織体制・制度等の見直しをする必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

令和2年時点で築19年を経過し、施設の一部で劣化が見受けられ、対処療法的な修繕及び改修を実施しているが、今後は、設備等の更新時期を延ばすための適切な計画保全による長寿命化を実施していくことと同時に、トータルコストを最小限に抑えることを検討する。

## 全体総括

令和2年度の経営状況は、新型コロナウイルス感染拡大により外来収益が前年度に比べ約2,100万円減少した。入院収益は地域医療構想を踏まえた病床機能の見直しを実施し、年度途中の11月に一般病床（40床）の一部を、地域包括ケア病床（9床）に転換し入院単価増に努めた。今後も「地域医療構想調整会議」での議論を深め、患者の状況に応じた適切な医療を、効果的かつ効率的に提供する体制を整備し、患者ができるだけ早く社会に復帰し、地域で継続して生活を送れるように取り組んでいくこととする。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。